

ウバメガシ（萌芽）

[木本] 《嗜好》



葉は厚く鋸歯が目立つ。



樹皮は縦に裂ける。



春に花を一斉に付ける。

区別のポイント

（ケウバメガシ）

よく分枝し、樹皮は黒褐色で縦に浅く裂ける。葉は楕円形で縁は裏側に少し巻き鋸歯がある。

形態 常緑低木。海岸林を形成する樹種のひとつ。

分布 本州（神奈川県以西の太平洋側）・四国・九州・沖縄

名前の由来 芽出しの色が茶褐色で（ウバメ）からなど諸説あり。

葉 〈全体〉長さ3～6cm、幅2～3cmの楕円形で厚い革質。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉5ミリ。

〈基部〉円形。

〈葉先〉円形。

〈縁〉浅い鋸歯があり裏側に少し巻く。

備考

出典 1 4